

下水道機構の動き

新任職員の紹介

下水道機構では、令和7年4月、5月に20名の新任職員を迎えました。新たな職員とともに一丸となって「技術の橋わたし」に取り組んでまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

企画部 兼 研究第一部 係長 栗山 進

業務内容：下水道に関する広報や研修，事業運営に関する業務，官学交流・共創会議<アトリエMizukara>の運営



4月より企画部兼研究第一部の係長として着任しました栗山進（くりやますすむ）と申します。これまで、マンホールと管きよの接続部の耐震化，下水道用管更生材の開発や品質管理，施工機械の整備・出荷

などといった業務に携わってまいりました。下水道機構での担当業務は、主に広報や研修，事業運営に関する

業務です。研究第一部は、官学双方の相互理解の促進を目的に地方公共団体のご担当者及び大学の研究者を招き、対面での意見交換の場として「アトリエMizukara」の運営を担当しています。

趣味はスポーツ観戦です。特にサッカーが好きです。学生時代からサッカーを続けており、プレーする楽しさはもちろん、観ることにも大きな魅力を感じています。最後になりますが、新たな環境で皆様にご迷惑をお掛けすることが多々あると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

技術評価部 審査調査員 河岸 岳人

業務内容：建設技術審査証明事業（下水道技術）事務局



4月より技術評価部に配属となりました河岸岳人（かわぎしがくと）と申します。

出向元では下水道施設の耐震診断を主として、下水処理場の耐水化基本設計，下水道全体計画の策定やし

尿処理施設の防食被覆設計等に2年間携わってまいりました。

機構に配属され、これまでとは全く異なるお仕事に

戸惑っておりますが、様々な技術に触れることができる素晴らしい環境だと感じております。様々な学びの機会を通して、知見を蓄積できるのが楽しみです。

プライベートではキャンプ，釣り，スノーボード等のアウトドアが好きで週末は一人気儘に出かけています。機構の部活にも似たような活動があるとお聞きしておりますので、積極的に参加したいと思っております。

至らぬ点多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願いいたします。

研究第一部 副部長 宮地 一憲

業務内容：温室効果ガス削減策の調査研究，水環境管理等に関する政策支援，官学交流に関する業務



4月より研究第一部の副部長として着任した宮地一憲（みやちかずのり）と申します。これまでの仕事では、その大半で下水道の業務に携わってきました。事務職や土木職と比べ人数が

少ない設備職（機械職）として下水処理施設の維持管理をはじめとし、設計積算、工事監督業務などに関わってきました。下水道施設は

全国的にも老朽化が進み、修繕、整備や更新といった事業に膨大な費用が必要となっており、各自治体の経営状況はより厳しいものとなっていると思います。このような問題に少しでもお役に立てるよう、これまでの経験を活かして業務に取り組むとともに、下水道機構の特徴でもある産学官の連携のもと業務に邁進して下水道業界のお役にたてればと考えております。また、東京での生活を満喫しながら気分転換を図りたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

研究第一部 兼 企画部 主任研究員 横森 慶

業務内容：渇水時等における下水再生水利用拡大に向けた調査検討業務，道路陥没対策検討委員会の運営支援業務



4月より研究第一部兼企画部の主任研究員として着任しました横森慶（よこもりけい）と申します。これまで、下水道における脱炭素化の推進に取り組んでおりました。特に、昨年度は上下水道が一体化したという

こともあり、これを踏まえた業務の推進が求められ

ました。下水道機構での担当業務は、再生水の有効利用や道路陥没対策検討委員会の運営支援等と、業務の中身が大きく変わり、不慣れな点が多くありますが、一日でも早く貢献できるよう精進します。また、本機構では多様な知識や経験を持った方々が集まっております。この機会に、産学官の繋がりをこれまで以上に強固なものにできたらと考えております。皆様にはご指導いただくことばかりかと思いますが、何卒よろしくお願いたします。

研究第一部 研究員 幸田 直也

業務内容：合流式下水道の改善におけるモニタリング効率化検討，雨天時浸入水調査，BCP訓練など



下水道機構では、政策支援や調査研究といったこれまで経験のない分野の業務に携わらせていただきま

す。4月より研究第一部に配属となりました幸田直也（こうだなおや）と申します。出向元では、処理場・ポンプ場の耐震補強や改築更新等の土木工事の積算・工事発注業務に携わってお

りました。また、様々な業界の方々と同じフロアで業務に励む中で、新たな知識や視点の習得、そして横のつながりを築いていきたいと考えています。

私生活では、今回の転勤を機に、しばらく遠ざかっていた自転車を再開しようと思います。関東での生活は初めてですので、見知らぬ土地を開拓し、豊かな自然の中で心身ともにリフレッシュしたいと考えています。

最後に、下水道機構の一員として貢献できるよう精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

研究第一部 研究員 寺地 裕康

業務内容：雨天時放流水質モニタリングの効率化に関する調査研究，水処理工程からの一酸化二窒素抑制に関する共同研究



4月より研究第一部に配属となりました，寺地裕康（てらちひろやす）と申します。

これまでは，主に下水道処理場などの下水道施設における耐震診断や耐震補強設計に携わってまいりました。また，国土交通省の

B-DASHプロジェクトをはじめとする研究開発業務にも並行して取り組んでおりました。

このたび，まったく新しい環境での業務に携わることとなり，不安もありますが，それ以上に大きな期待

を抱いております。下水道機構では，民間企業・自治体・研究機関など，内外を問わず多くの方とのつながりを大切にしながら，業務に取り組んでいきたいと考えております。

趣味は麻雀，ボードゲーム，ボウリングです。出向元でも，麻雀やボウリングで定期的集まったり，最近では機会が減っていますが，フットサルや登山にも参加させていただいておりました。

まだ不慣れなことも多く，ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが，下水道機構の一員として誠心誠意努めてまいりますので，どうぞよろしく願います。

研究第一部 研究員 宮崎 次玄

業務内容：効率的な下水道事業推進に資する技術開発連絡会議運営，戦略的な水環境管理のあり方に関する検討業務



5月より研究第一部に配属となりました宮崎次玄と申します。これまでは，不明水調査の提案書作成から報告書作成業務，自治体に対してW-PPPの説明や下水道施設の調査提案・資料作成などを行っておりました。下水道機構では，主要

都市の会議運営から国の政策支援など，これまでに経験したことがない業務で不安はありますが，それと同

時に大きな期待感もあります。また機構内には，さまざまな業界の方々がおられ，そのような環境で働けることに感謝しつつ，繋がりを大切にして，日々業務に取り組んでいきたいと思っております。

趣味はショッピング（特に服や雑貨）や野球観戦です。まだ東京ドームには行ったことがないため，一緒に観戦に行ける方がおられたら嬉しく思います。最後になりますが，皆様と協力して，機構のため，さらには下水道事業のために少しでも貢献できるように取り組んでいきます。よろしく願います。

研究第二部 部長 水木 麻雄

業務内容：管路技術・雨水対策に関する調査研究，官民連携に関する自治体支援

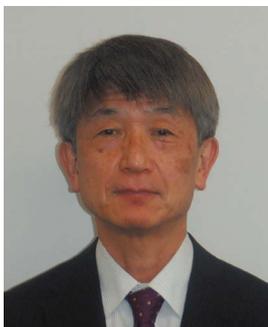


研究第二部長に着任した水木麻雄（みずきあさお）です。これまで，維持管理，工事監督，設計，計画，技術管理，予算管理など，割と幅広くやってきましたが，研究開発は初めてとなります。また，国や自治体，民間出身等様々な知見をお持ちの方々を並べ，学と連携して仕事を行う組織

であることも非常に刺激になっています。機構は有楽町線江戸川橋駅の最寄りですが，沿線に実家があり子供時代にこの路線をよく使っていたこと，就職直後に目の前を流れる神田川改修事業に携わっていたこともあり，原点に立ち返って仕事を進めていきたいと考えています。週末は，川沿いをサイクリングして季節を感じながら過ごしています。機構内外の様々な方とよくコミュニケーションをとり，新たな着想にも努め，業務を通じて社会貢献できるよう取り組んで参りたいと存じます。どうぞよろしく願います。

研究第二部 副部長 中村 了治

業務内容：下水道管路施設包括的民間委託に関する調査，W-PPPに関する調査，雨水管理総合計画の策定推進に関する調査



4月より研究第二部の副部長として着任しました中村了治（なかむらさとる）と申します。これまで、下水道、まちづくりなどの業務を経験し、下水道に関しては、管路施設を中心に設計業務から工事の監督、流

出抑制施設設置の指導や技術監理部などに従事してきましたが、自分自身が整備に関わってきた下水道施設

の老朽化を肌で感じている状況です。担当する業務は、W-PPPに関する調査が主な業務で、一日も早く担当業務の流れを掴み全国的な下水道の課題解決に貢献してまいりたいと考えています。趣味ですが、特にありませんが、途中ブランクがありながらも、社会人になってから数年前までランニングをしていましたので、還暦ではありますが、機構内部の皆様とランニングをしたいと考えています。よろしくお願いたします。

研究第二部 総括主任研究員 工藤 芙美子

業務内容：W-PPP導入支援業務，浸水対策検討業務等



5月より研究第二部に配属になりました、工藤と申します。

出向元では主に管路の下水道計画に携わっており、最近では総合地震対策計画やストックマネジメント計画の作成業務等を行っておりました。

研究第二部ではW-PPPの導入支援業務等を主にとり行うとのことで、今まであまり携わったことのない業務に不安や緊張も多くありますが、官民連携の橋渡しを行えるよう精進してまいりたいと考えております。

個人的な趣味は飲むこと食べること、そして宝塚観劇です。最近チケットが取れないため、もっぱら配信で（飲みながら）楽しんでいます。

不慣れな点も多く、ご迷惑をお掛けすると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

研究第二部 主任研究員 本多 晃一

業務内容：下水道事業へのW-PPP導入検討業務，雨水管理総合計画策定業務等



5月より研究第二部に配属となりました本多晃一と申します。出向元では、14年勤務し、これまで、処理場施設、管路施設の長寿命化計画策定業務、管路施設の耐震化計画策定業務のほか、下水道事業運営に係る

業務として、公営企業会計移行支援、経営戦略策定、

官民連携事業の導入可能性調査等の業務に携わってきました。下水道機構では、主に管路施設のW-PPP導入検討業務に携わることになるため、自身の経験を活かしていければと考えております。また、共同研究や委員会運営等、これまであまり経験のなかった分野に携わることになります。さらに、発注者としての立場になる場面も多くあると思いますので、徐々に慣れて、自身のキャリアアップにつなげられればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

研究第二部 研究員 石塚 隼暉

業務内容：管路施設包括業務， W-PPP関連業務， ポンプゲート設備に係る技術マニュアル改訂等



4月より研究第二部に配属となりました石塚隼暉（いしづかはやき）と申します。出向元では、下水処理場に係るプラント機械設計，ストックマネジメント計画に4年間携わって参りました。配属先の研究第二部はW-PPP導入検討や管路施設包括業務等が主な業務内容ということでこれまで経験してきた業務と全く

異なるため慣れるまでの不安があるのと同時に下水道事業の整備や計画などの業務に前線に立って関わっていくことができると感じております。プライベートでは、友人とサウナや温泉に行くことが多く、その後はお酒を飲んだりして日々の疲れをリフレッシュしています。また出向元の野球チームにも所属しており、たまに練習や大会に出たりしています。最後になりますが、機構出向は自分にとって貴重な経験になると思うので、日々勉強して自分の糧にしていきたいです。よろしく願いいたします。

研究第二部 研究員 清棲 拓馬

業務内容：W-PPPの導入支援業務，都市浸水対策に関する業務，下水道管路の簡易調査技術に関する研究，流出解析モデル利活用マニュアルの改訂等



4月より研究第二部に配属となりました清棲拓馬（きよすたくま）と申します。出向前は、浸水対策などを中心に下水道の計画系業務に約9年間携わって参りました。機構では、官民連携分野などこれまで経験したことの無い業務に従事する機会が多く、不安もあり

ますが、先輩方の知識や技術を吸収しつつ、楽しく働いていけたらと思っています。趣味はあまり多くありませんが、食べること、飲むことが好きで、たまに運動もします。プライベートでは第一子の娘が1歳となり、日々の成長を楽しく見守っています。至らぬ点多々あるかと思いますが、産学官の橋わたしとして、皆様のお力添えができますよう、また下水道事業の今後の発展に少しでも貢献できますよう、尽力して参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

研究第二部 研究員 松浦 悠

業務内容：管路包括履行監視業務， W-PPP導入検討業務， グリーンインフラ施設における雨水流出抑制機能の定量評価に関する自主研究の実施



5月より研究第二部に配属となりました松浦と申します。これまでの業務では、下水道管路設計の部署で、詳細設計，耐震詳細診断，ストックマネジメント実施計画等に携わって参りました。下水道機構では、管路包括履行監視業務， W-PPP導入検討業務やグリーンインフラ施設における雨水流出抑制機能の定量評価

に関する自主研究等，これまで経験していない業務に携わることとなります。自身の知見を広げることができればと考えております。出身は北海道にある小さな村ですが、現在は市町村合併で町の一部となりました。就職するまで北海道に住んでいました。趣味は高校の部活で始めたスポーツライミングをたまにすることと、2年前からゴルフを始めたので月1回ほどゴルフ場に行っています。業務に早く慣れ、皆様のお役に立てるように努めてまいります。よろしく願いいたします。

資源循環研究部 総括主任研究員 熊野 晋

業務内容：下水汚泥の肥料利用拡大に向けた処理場特性の調査・検討業務 他



この度、4月より出向で参りました熊野と申します。出身は神戸です。「資源循環」という言葉は現在のニーズに合っており、この言葉を果たせるように業務に邁進していく所存です。また、実は今回が2回目

目の下水道機構への出向となります。前は20年前に研究第一部に配属となり、多種多様な人材に囲まれて、

不思議な気分で業務を行っていました。そのうちに溶け込んで同じ釜を囲む仲間として意識するようになり、あっという間に2年間の過ぎた感じでした。現在もその人脈は生きており、自分にとっては非常に大きな財産となりました。新たな2年間のスタートとして、また新たなメンバーで同じ釜を囲むことができ、光栄に思っています。お互い、協力し合って業務を全うし社会へ貢献したいと思います。趣味はここ数年グルメにはまっています。20年前とは異なる地で、グルメ探しも楽しみたいと思います。

資源循環研究部 主任研究員 畑田 康助

業務内容：下水道分野の革新的技術等普及展開方策検討業務



4月より出向で参りました。私はこれまで下水処理場の機械設備の実施設計や計画設計、高品質工業用水供給に向けた海外事業化の検討等に従事してきました。直近では、2年間大阪支店に駐在し、西日本を中心

に地方公共団体や建設コンサルタント等への技術営業に従事させていただきました。機構では国の下水道

事業に関わる業務を担当させていただきます。出向元では経験できない類稀な機会であり、日々研さんに励むと共に、知見の拡大に努めて参りたいと思います。微力ながらお役に立てればと考えております。出身は九州鹿児島です。地元を離れ早20年以上が経ちました。山あり谷ありの半生でしたが、多くのご縁に恵まれ、昨年には長男も生まれ充実した日々を送っています。これからも人との出会いや縁を大切にしていきたいと思ひます。皆様どうぞよろしくお願い致します。

資源循環研究部 研究員 沖口 裕真

業務内容：バイオマス脱水法を用いた有機資源循環システムに関する共同研究 他



資源循環研究部の沖口と申します。出向元ではポンプの本体設計業務およびポンプ場の計画設計業務に従事していました。普段は目立つことの少ない設備ですが、浸水対策に貢献し、住民の安心・安全を支える不可欠な設備の設計を手掛ける中で、ポンプ場の重要性を改めて実感しました。機構は、国や自治体、メーカー、

コンサルタントなど様々な立場の方々が共に働く特別な職場であり、そのような環境で楽しみながら仕事ができればと思っています。仕事を通じて多くの方々と出会い、自分の視野と選択肢を広げるとともに、公益という使命のもと「技術の橋渡し」の役割を果たせるよう努力していきたいと思ひしております。趣味は就職後に始めたゴルフです。関東圏には有名なゴルフ場が多く、ぜひ関東の名門ゴルフ場を制覇してみたいと夢みしています。

資源循環研究部 研究員 田村 賢紀

業務内容：下水道における資源の循環および活用に関する調査・共同研究・技術資料の作成



立させるための送風制御技術をお客様設備に実装する

この度、資源循環研究部に配属となりました田村賢紀（たむらとしき）と申します。茨城出身です。出向元では下水処理場向け電気設備の基本設計や技術営業業務を経験し、直近では水質改善と省エネルギーを両

工事に携わりました。機構には、自治体、コンサルタント、メーカーなどから知識・経験の豊富な方々が集まっており、日々刺激を受けています。機構の業務では、リン回収検討やエネルギー監視装置に関する研究を担当します。未経験の連続ですが、下水道事業の課題解決を意識して自分の役割を果たしていく所存です。どうぞよろしく願いいたします。ここ最近はウイスキーに熱中しており、少しずつボトルを集めています。今年は国内いずれかの蒸留所に赴きたいと思っています。

資源循環研究部 研究員 富田 麻未

業務内容：下水道温室効果ガス削減推進モデル事業の支援業務



従事しておりました。機構での業務は出向元とは大きく変わりますが、下水道業界全体を大きく見渡すことができ、日々新たな知見を得られることに喜びを感じ

4月より資源循環研究部に配属となりました、富田麻未と申します。

出向元では、入社以来、研究開発部門に所属し、主に産業排水処理技術の研究開発、直近では二酸化炭素分離回収技術の研究開発に

ながら取り組んでおります。

趣味は広く浅くというところですが、学生時から始めた登山は今でも細々と続けています。最近では標高数百メートル程度の低山を中心にでしたが、そろそろ、もう少し高い山に登りたいと考えているところです。

慣れない業務で不安もございますが、貴重な機会をいただいたことに感謝し、国交省、民間企業、自治体の方々との出会いを大切にしながら、下水道事業に貢献できるよう精進いたします。これから、何卒よろしく願いいたします。

資源循環研究部 研究員 宮崎 陸

業務内容：下水道に関する資源の循環についての調査、共同研究、省エネについての業務



計業務です。

管を無駄なく使うためには、予算を抑えるためにはと日々頭を悩ませながら業務しており、図面が完成し

4月より資源循環研究部に配属となりました宮崎陸と申します。

出向元では技術部として、CADを使用し浄水場の場内配管の設計、検討業務をしていました。主にダクタイル鋳鉄管と鋼管の設

た時の達成感は何とも言えません。

趣味はライブやフェスに参加することです。今年からベースを始めようと準備しています。

下水道機構では知見を広げることと人間関係を大切に2年間精一杯頑張っていきたいと思っています。

今までとは全く違った業務に携わらせていただくので不安と楽しみでいっぱいです。不慣れなことが多いので、ご迷惑をお掛けすると思いますが、一日でも早くお役に立てるように精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。